

中津川市「命の教育」

目的：人権としての生と性を学び、個々の命の尊厳や男女の共生を考えることを通して、自分や相手を大切にする気持ちを育み、相手を思いやり自分らしく生きるための自己決定力と人間関係を構築する力をつける。

「命の教育」実行委員会発足

中津川で教員が一つに

このままでは子どもたちを救えない

すべての教育活動で

大人たちが今ある課題に向き合うべき

本当に教えなければいけない
ことは何か

教員の無力感

合併直後の不登校の激増

どうせ自分なんて、存在価値が
ない・いらぬ人間なんだ

市内中学校での“荒れ”

平成18年4月

自己肯定感
の低さ

H19

命の教育
スタート
データ共有 (CD)

H24

先進校での
授業提供研究授業
研究発表

H29

公立幼稚園
公立保育園

R2

法人幼稚園
法人保育園

データ共有 (ネットワーク)

子どもたちの5年先、10年先のために

面倒見よく 身につくまで

各幼保小中での実践・交流・研究



授業研究



担任による授業



渡辺先生による授業



前田獣医師による授業



助産師による授業



幼保による実践



教師向け講話



動物の心臓の音



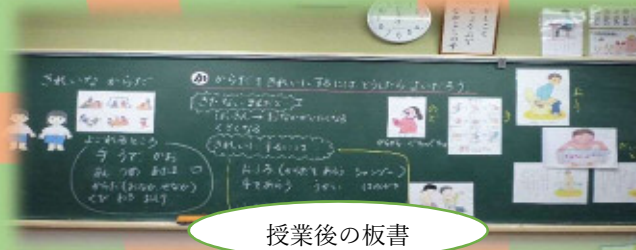
抱っこ体験



あしあと



情報モラル講話



授業後の板書



生徒同士の交流

年間指導計画に基づいた幼保小中（10カ年超）での実践と研究

生徒指導主事部会

初任研

養護教諭部会

夜学

命の教育推進委員会（担当校長・担当教頭・主幹教諭・生徒指導主事代表・養護教諭代表・幼稚園長代表・市教委＋α）

○効果ははっきりとしている点

- ・教員の「命」に関する意識の向上
（いじめや心に関するアンケートの扱い）
- ・保護者への啓発

●現在の問題点

- ・事件の風化
- ・世代交代による教える側の意識の低下
（命の教育推進担当教員と授業をする教員の意識の差）

□効果がはっきりとしない点

- ・「命の教育」の評価（数字で表すことが非常に困難）

◎今後の「命の教育」について

志教育 ～将来を見据えて生きていく力～

令和2年度 中津川市 の『命の教育』年間指導計画（常時改正中）

5 つ の 領 域	【命の大切さ】	【人の存在のすばらしさ】	【こころとからだの発達】	【性の正しい知識と判断】	【命を守る知識とスキル】
※ 下記の学習内容は、主に右の5つの内容から構成されている。	自他の命はたった一つしかない尊いものであり、その命が育まれる営みの尊さを実感する。	自らのよさを自覚し、他者のよさを尊重して、共に高まり合う意識を高める。	命が誕生し、こころと体が発達する仕組みを理解する。	命を誕生させることに対する責任を認識する。	自らの命は自らで守る意識を高め、その方法を獲得する。

校種	保育園・幼稚園		小 学 校						中 学 校			特別支援学級		
	学年		年長（5歳）	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	小学校	中学校
題 材 名 と 主 な 指 導 内 容	愛されて生まれたんだ	A 学 活 ・ 総 合 で 実 施	きれいな体・だいいな体	おへそのひみつ	命のはじまり①	してはいけないこと	性被害とその予防	ジェンダーを考える	二人のすてきな関係 ～告白～	命の終わりにについて考える	恋愛と性交渉	きれいな体	自分の体の仕組み・男女の体の仕組み	
	親（家族）や先生の自分を思う気持ちがわかり、自分がここにいてくれるだけでうれしいと思ってもらえる存在であるということを感じ取ることができる。		うがう、手洗い、歯みがきと同様に、体を清潔に保つ大切さを知り、用便後の処理や性器を含めた体の清潔を保つ入浴方法を理解し実践する意欲を育てる。体の器官にはそれぞれの役割があり、男女の性器にも大切な役割があることを知り、性器を清潔にし、大切にしようという意識を育てる。	へその緒がある動物とない動物があり、どちらも大切にされ誕生したことを動物の生命の誕生から理解する。	性交により、卵子和精子が受精し命が始まることを知り、生命の誕生の尊さを知る。	それぞれの体や特徴について、相手の嫌がる言動をとることはいけないことだと理解し、友達や異性を大切にしようという意識を育てる。	性被害の様子を知り、被害に遭わないためにはどうすればよいかを理解し、進んで実践しようという態度を養う。	社会的性差にとらわれず、LGBT等の多様な性について互いを認め合い自分らしく行動する意識を高める。	異性の心と体を尊重する知識と心情を学び、互いを高め合う関係とはどういものかを考えることができる。 ・タッチのルール	いつか訪れる死について考え、与えられた生命を精一杯充実したものに する意欲を持つことができる。	思春期での恋愛にとって大切なのは、互いを尊重し高め合うことだと理解し、性交の自己決定について学ぶ。 ※3学年の最後の学習として位置づけることが望ましい。	うがう、手洗い、歯みがきと同様に、体を清潔に保つ大切さを知り、用便後の処理や性器を含めた体の清潔を保つ入浴方法を理解し実践する意欲を育てる。 ①消化器系の臓器の名称や働きや循環系の臓器の働き、男女とも共通に持っている部分の働きを知り、心音などを実際に聞くことで生きていることを実感する。 ②男性や女性の体の仕組みと働きを知ることを通して、第二次性徴について理解を深めることができる。	①消化器系の臓器の名称や働きや循環系の臓器の働き、男女とも共通に持っている部分の働きを知り、心音などを実際に聞くことで生きていることを実感する。 ②男性や女性の体の仕組みと働きを知ることを通して、第二次性徴について理解を深めることができる。	
	命のはじまり		さきいいのらない	食べることは生きること	命のはじまり②	身を守るロールプレイ	男女の協力	性徴を科学する	二人のすてきな関係 ～恋する心～	二人のすてきな関係 ～デートDV～	すてきな家族	人との距離のとり方	メイク検査	
	自分の命の始まりがわかる。 どの子ども望まれた命であり、大切に育てられた命であることがわかる。		被害に遭わないための対応の仕方や日常生活での注意点を理解し、具体的な心構え、生活態度や危険回避の手段を身につける	心と体の健康のためには、食事が大切ということを理解し、望ましい生活習慣を身につける。 ・栄養バランスのよい食事 ・カルシウムの力 ・よくかんで食べよう	受精から誕生までの様子を知り、家族の愛情や生命の尊さを感じ、命を大切にする気持ちを育てる。	物をあげるから・・・写真を撮らせて・・・など具体的な場面設定で、危険から身を守る方法を疑似体験して学ぶ。	男女のそれぞれの長所を確認し、お互いに長所を生かし、助け合い協力して生活していこうという意識を育てる。	性ホルモンの分泌と二次性徴の関係を 知り、自分の体の変化を科学的に理解する。 ※ 内外性器の名称と役割の確認	異性の心と体を尊重する知識と心情を学び、互いを高め合う関係とはどういものかを考えることができる。	自分と相手が支え合い、高め合える関係を築くために、正しい知識を学び、責任ある性行動を選択できる力を養う。	家庭設計や家族計画を考え、理想的な家族になるため、今の自分の生き方や恋愛観について考えを持つことができる。	※相手や場面によって人との距離のとり方は異なるということがわかることも大切だ という意見が出ました。	メイクをすることで体の体験をし、自分自身の変化に気づき、よりよく変わって いけるという意識を持つと共に、他者から認めてもらえるうれしい言葉をもらうこ とで、他者からの見られ方を意識できるようになる。	
	からだの働きを知ろう			男の子・女の子（タッチのルール）	いやないたすら	強い心と正しい行動			SOSの出し方	がん予防	遊戯と人工妊娠中絶	つながっていた命 愛情いっぱい	二人のすてきな関係	
	からだの大切な部位の簡単な名称と働きがわかる。 障がい児の存在に気づき差別やいじめは絶対に良くないことだ ということを認識することができる。		男女の体の役割や特徴を知り、性器はとも大切であることを理解する。相手の体に触れることは相手の心にも触れることでもあることを知り、言葉で気持ちを確 認するなどのルールやマナーを学ぶ。また実践する。	身近ないたすらの中に性差によるものもあることを知り、男女仲良く行動する態度を養う。	思春期の心と体の変化を知り、自分の欲求だけで行動するのではなく、人の思いや行動をすることの大切さを理解させる。				つらいとき、苦しいときにどう対応すればいい のか。逃げたい、逃げる場所がある。命を絶たなくても方法がある。自分を傷つける以外の方法や自死を選択しないですむ方法を学ぶ。	・生活習慣病・感染症・予防・医療機関・早期発見・つきあい方・がん理解	望まない妊娠をした女性の生き方から、性交後の二人の責任について考えを深める。また、避妊の 具体的方法について正しく学び、実行できる二人の関係を について考える。	動物の赤ちゃんと比較しながら、人間の赤ちゃんは母親のお腹の中で、へその緒を通して母親とつながっていたことに気づき、お腹の中でも母親の愛情に包まれて大切に育てられたことを知ることができる。	様々な好きの形を知り、自分の思いの伝え方や気持ちの受け取り方を、役割演技で体験することを通して、すてきな人間関係の作り方を考えることができる。	
	おへその仕事			あぶない遊び	きけんに近づかない	SOSの出し方							タッチのルールについて知ろう	すてきな家族
	へその働きを知ることができる。 子宮の中で自分が母体とつながっていたことがわかる。			日常生活の中にある危険な遊びや不注意に気づき、自他の命や体を大切にする態度を養う。 ※ 短学活でその都度実施、季節によって内容も異なる。休暇前にも実施する。	身近に起こりうる犯罪や事故に遭わないために、どうすればよいか理解し、実践する意識を育てる。	つらいとき、苦しいときにどう対応すればいい のか。逃げたい、逃げる場所がある。命を絶たなくても方法がある。自分を傷つける以外の方法や自死を選択しないですむ方法を学ぶ。							① 自分自身のプライベートゾーンとそれ以外の部分について知り、自分自身のタッチのルールを考えることができる。 ② 自分以外の人へのタッチのルールを学び、嫌なタッチに対する断り方を身につける。	生きていくために必要な4つの自立について考え、「性的自立の完成」を目指して、これからの自分の生き方や未来像を考えることができる。
	自分のからだを守る				自分らしく								親しいのにらない 大声で助けて	
	性器も大切なからだの一部という意識をもつことができる。 人のからだに触れるのには了解がいることがわかる。				その子らしさ、自分らしさを認め合い、互いのよさに着目する姿勢を育むとともに、尊重しながら力を合わせて生活する意識を高める。								連れ去りなどの被害に遭わないための対応の仕方や日常生活での注意点を理解し、危険な目に遭いそうになったら大声で叫ぶ訓練や逃げ方等の危険回避の手 段を身につけることができる。（県警タンポポ班）	
情報モラルを学ぶ	B 講 話 形 式 等	情報モラルを学ぶ						情報モラルを学ぶ(技術の授業以外で)			情報モラルを学ぶ			
獣医師による命の授業 前田動物病院の院長前田敬生先生による命の授業です。		獣医師による命の授業(全学年対象)						助産師による思春期教育(中学校全学年対象) ※市費補助対象			獣医師による授業	助産師による授業		
		助産師さんによる命の授業(全学年対象)						妊婦体験、赤ちゃんとのふれあい体験を通して、自他の命の大切さを感じ取るとともに、自らも育ててもらったことに対する感謝の念を持つ。			可能な限り該当学年の授業に参加する。			
教科で実施	C 短 学 活	D 人 間 の あ い わ い の こ と	人間の赤ちゃん			SNS/ノート			SNS/ノート			二次成長(4年生以上)		
			母親のお腹の中で大切に守られ、自分と母親の力を合わせて生まれてきたことを知る。			担任の先生が使いやすいように毎年改訂されている。LINE株式会社提供。1年かけて少しずつ学習でる。帰りの会での利用も効果的。(他学年での利用も可)			担任の先生が使いやすいように毎年改訂されている。LINE株式会社提供。1年かけて少しずつ学習でる。帰りの会での利用も効果的。(他学年での利用も可)			男女それぞれの二次性徴について知り、これから訪れる変化を理解し、それを受け入れようという意識を育てる。		
その他	E そ の 他	F そ の 他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他				その他(特支)	
			・赤ちゃんがうまれるよ ・体を大切にしよう ・体のちがいが ・知らない人には ・おちんちんの話	・体のちがいが ・かけがえのない生命	・いのちのバトン	・体の中にかかる変化 ・助産師さんを招いて ・大切なわたし ・脳はだまされやすい	・メディア ・スマホ安全教室 ・こころの授業 ・私たちの命の成長 ・メール、ラインのトラブル ・命をかけて命を守る ・仲間の協力	・インターネットから命を守る ・ようこそ思春期 ・エイズ ・ドクターカー	・異性への関心・思春期の心とふれあい・乳幼児学級・悩みへの適切な対処・性の正しい知識と判断力・大人力アップ・妊婦疑似体験・恋愛とふれあい・いじめといじりの境界線・いろいろな気持ちを知らう・暴言ではなくあたたかな言葉を・本当の男女の仲の良さ・ストレスマネジメント・アサーション				・からだをまもるはなし ・防災学習 ・タッチのルール(中学校)	
			※ 上記の内容は、その全てを1単位時間を確保して実施するという内容ではない。内容によっては、一部を短学活等で子どもの実態や社会問題、ニュース等と関わらせて指導することも可能である。また、各学年において、上記の【A 学活・総合で実施】の題材から本校の実態に合わせて2つ以上の実践を積み重ねて実施している。											
			※ 各学年に設定した内容を、子どもの実態に応じて他学年で実施してもよい。ただし、一度学習した内容(授業)を再び次年度に学習することは避ける。											
			特に、複数学年が合同で授業を受ける場合、翌年再び同じ授業を受ける子どもが含まれないように留意する。											
			(＝繰り返し学習する価値がある、という捉えで実践される場合も予想されるが、学習する内容も方法も同じ授業を再度行うことは避けるよう留意する。)											
			※ 保育園・幼稚園の内容は、その実践を各園で積んでいくことをめざすものである。											
			「命の教育」全体に関わる参考資料											
			・懇談会時配付資料											

注 令和2年6月5日現在 色文字で学習内容が書かれている領域には指導案は入っていません。

※ このリンク表の保存先： センターファイルサーバー → 小学校共有（または中学校共有） → 05命の教育 → 命の教育指導案集（令和2年度用）